

富津市図書館協議会 会議録

1 会議の名称	令和 6 年度第 1 回富津市図書館協議会
2 開催日時	令和 6 年 6 月 25 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分
3 開催場所	富津市役所 4 階 401 会議室
4 審議等事項	議題 （１）令和 5 年度図書館事業実績報告について （２）令和 6 年度事業の進捗について
5 出席者名	○出席委員 三浦貴子、平 順子、杉田玲子、川口泰明、長谷川玲子、 永野弘子、米村志朗、伊藤隆男、矢上美知子 ○事務局 岡根教育長、中山教育部長、篠田生涯学習課長、 吉村社会教育係長、網代主査 ○指定管理者（株）図書館流通センター） 須藤図書館長、大河原チーフ、清水、澤田
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	4 人（定員 10 人）
9 所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10 会議録 （発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度第1回「富津市図書館協議会」会議録

発言者	発言内容
事務局 (篠田課長)	(次第1 委嘱状交付) 皆様、こんにちは。 委員の皆様方におかれましては、本日は大変ご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。 本日、会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田と申します。よろしくお願いいたします。 それでは、開会に先立ちまして、今年度、新たに富津市図書館協議会委員になられました方に、教育長から委嘱状を交付させていただきます。 お名前を申し上げますので、大変恐れ入りますが、名前を呼ばれましたら、その場でご起立をお願いいたします。 …委嘱状交付(2名)… それでは、新しく委員となられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様及び事務局職員の紹介をさせていただきます。 五十音順に作成されている名簿順にお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立いただきたいと思います。 …委員紹介… 続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。 …事務局職員の紹介… 以上で紹介を終了させていただきます。 ここで教育長は、公務のため退席させていただきます。 それでは、会議を始める前に担当より配付資料の確認をさせていただきます。
事務局 (吉村係長)	本日の会議資料を確認させていただきます。 机上配付：次第、委員名簿、席次表 ・資料1－1 令和5年度 図書館事業実績報告

	・資料１－２ 令和５年度 富津市図書館施設統計 ・資料２ 令和６年度事業の進捗 ・参考資料 第２次富津市子ども読書活動推進計画 以上が本日の資料となります。不足等ありましたら事務局までお知らせください。
事務局 (篠田課長)	(次第２ 開会) それでは、ただいまから、令和６年度第１回富津市図書館協議会を開会いたします。 はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。 １０名の委員のうち、出席委員は９名でございます。 従いまして、富津市図書館条例施行規則第２０条第５項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告いたします。 続きまして、会議の公開についてですが、本日、４名の傍聴者がおりますことをご報告させていただきます。 また、会議録作成のため、録音させていただきますので、ご了承願います。
事務局 (篠田課長)	(次第３ 会長あいさつ) 続きまして、次第３、川口会長からご挨拶をお願いいたします。
議長 (川口会長)	皆さん、こんにちは。 図書館協議会も、昨年４月２７日にスタートしまして、２年目に入ったところでございます。これまで図書館整備基本計画の基本コンセプトを基に、委員の皆様の中で図書館に対する利用形態、運営方法とさまざまなイメージをお持ちであり、それらを含めて協議、意見交換を重ねてきたというところでございます。 また、指定管理者である図書館流通センターが提案する数々の自主事業の実施状況の報告を受け、委員の皆様の図書館の利用体験を踏まえて議論したところであります。またこの自主事業は、来館者数を増やすことに多く寄与したと感じたところです。 今年度は、新しく委員となられた三浦様、矢上様を含めまして、より図書館利用の増進が図られるよう、議論していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。 本日の議題ですが、「令和５年度図書館事業実績報告について」と、「令

	和 6 年度事業の進捗について」の 2 議題でございます。委員の皆様のご意見を伺いながら、議事を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 以上、私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願い致します。
事務局 (篠田課長)	ありがとうございました。 それでは、議題に入ります。 ここからは、富津市図書館条例施行規則第 20 条第 4 項の規定よりまして、会長に議長となつていただき、進行をお願いしたいと存じます。 川口会長、よろしくお願いいたします。
議長 (川口会長)	それでは、ここから私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。 議題に入る前に、会議録署名人を指名させていただきます。 三浦委員と永野委員をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 (次第 4 議題) それでは、議題に入ります。 (1) 令和 5 年度図書館事業実績報告について、事務局より説明を求めます。
事務局 (須藤館長)	それでは令和 5 年度図書館事業実績報告につきまして、説明をさせていただきます。 資料 1－1 をご覧ください。 1 ページ目、1 番の運営方針、2 番の基本目標、こちらについては、当初の事業計画に記載した内容と同様となっております。 3 番、図書館業務の実施状況ですが、期間が令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで、月 1 回休館しておりますが年間 341 日開館と、ほぼ毎日のように稼働しました。体制としては、スタッフ 11 名、責任者 3 名、計 14 名という体制となっております。今年度 4 月からは、今まで品川区で約 15 年司書の経験のあるスタッフが富津市に家族で移住いたしまして、図書館に勤務しております。かなり経験のあるスタッフですので、これからますます皆様に良いサービスを提供できるとことと考えております。

続きまして、2 ページ目、(4) 研修の実績ですが、全体で 36 講座、延べ 69 名が研修に出席しています。スタッフ 1 人当たり、5 回以上の研修を受けている計算になります。

続きまして、4 ページ目、(5) 図書館自主事業等の実績【通年事業】につきましては、昨年度の第 1 回図書館協議会で、事業予定としてお示しした予定どおり実施しました。項番 1 「おはなし会」については毎月第 1、3 土日に開催しました。「こぶた」は通常 0 歳から 2 歳ですが、おおよそ 4 歳までで、「ヒツジ」が 4 歳以上で実施し、1 年間で延べ 636 名の参加をいただいております。月に換算しますと概ね、毎月 53 名の参加をいただいております。ただ、こちらは、「こぶた」に参加された方が、その後の「ヒツジ」に参加されるということが多く、人数も内容的にも重なるということもありますので、後で説明いたしますけれども、今年度からは「こぶた」と「ヒツジ」を合わせまして「こひつじ」として、少し時間を長めにして「おはなし会」を開催させていただいております。

続きまして、項番 3 「あかちゃんタイム①～はじめてのおはなし会～」ですが、7 月以降、毎月第 1、3 月曜日におはなしの部屋で開催しております。計 18 回、143 名の参加で、月平均にしますとおおよそ 16 名が参加しています。こちらは 0 歳児から 2 歳児ぐらいまでの小さいお子さんが対象で、今はほぼ固定の利用者さんが 8 名ぐらい来ていただいております。その利用者さんがお友達を連れてくるという形で、少しずつ輪を広げています。

項番 4 「あかちゃんタイム②～工作教室～」ですが、小さいお子さん向けに、乳児でも簡単に作れるおもちゃ作りを、12 月から開催をしていて、12 月はクリスマススペシャルとして、クリスマスツリーを作りましたが、こちらは 18 名の参加がありました。以降 1 月 15 名、2 月 12 名、3 月 7 名と計 52 名が参加しております。月平均にしますと 13 名となります。こちらにも非常に人気が高く、3 月は春休みの関係で人数が少ないですが、基本的には多くの利用者さんに参加頂いております。

項番 6 「職場体験学習の受入れ」ですが、こちらは対象を小中学生で行ってりましたが、千葉南部地域若者サポートステーションから職場体験をさせて欲しいということで、2 名応募がございまして、働いて頂いたところ、非常によく働いてくれまして、この中から 1 名を正式に職員として採用しております。

項番 7 「図書館見学の受け入れ」ですが、前回、9 月までの報告をさせていただいておりますけれども、2 月に大貫小学校が来ていただきまして、全部で 11 施設 18 回の開催で 531 名に図書館に来ていただきま

した

項番 8「放課後デイサービスウィズユー 図書館お仕事体験」ですが、イオンモール富津の 1 階の放課後等デイサービスのウィズユーさんが、最初は毎週でしたが、先方の都合で最近では月 2 回来ていただいております。毎回 5 ～ 6 名が、展示コーナーを作ったり、子ども達に本を選んでもらって、その推薦文を書いてもらったりといったことをして頂いております。

項番 9「パスファインダー」につきましては、令和 5 年度には公開できていませんでしたが、シニアライフに関するパスファインダーを作っておりまして、6 月 1 日からパスファインダー第 1 号として図書館に掲示しております。

項番 10「富津からひらく」ですが、令和 5 年度は 33 名の市民の方に本の紹介をいただいております。内容の紹介を記したカードと本と一緒に展示をしておりまして、33 冊のうちおおよそ半分は借りられている状況です。

項番 11「図書館だよりの発行」ですが、広報紙の「図書館だよりの」を、一般向けに奇数月の 5 月から 3 月まで 6 回発行しております。今年度からは細かく年齢を分けて、0 歳から 2 歳、3 歳から 5 歳、小学校 1 ・ 2 年生向け、3 ・ 4 年生向け、5 ・ 6 年生向け、ティーンズ向け、と分けて発行させていただきます。内容につきましては、それぞれの学年に合わせた本の紹介、図書館イベントの紹介、図書館の使い方の説明などについて、各学校にお配りします。

項番 14「団体貸出 学級文庫」ですが、こちらは全部で 5 校、1,025 冊の団体貸し出しを行っております。

項番 15「団体貸出」ですが、こちらは定期的な学級文庫とは違い、スポット的にこういった勉強をするのでこういう本を揃えて欲しいとか、授業でこういう単元があるのでこういう本を揃えてほしい、という要望に対して答えた冊数となります。全部で 21 施設、1,016 冊の貸出になります。14、15 の団体貸出を併せますと 2,041 冊の貸出となっています。

項番 17「読書活動の推進」ですが、図書館に来ていただいた方はご覧になられていると思いますが、館内展示を 20 から 25 しており、そのうちの毎月 5 つぐらいは内容を変え、新しく感じる展示をしております。

以上が当初の事業計画に基づきまして実施した内容です。

続きまして、期間事業になりますが、事業計画に載っていない図書館の自主事業で、こちらは非常に多くてトータルで 42 事業を行っております。3 ページほどありますので、特徴的なところを説明させていただきます

ますと、項番 23「富津市立図書館来館者 10 万人達成セレモニー」ですが、8 月の末時点の約 5 か月間で来館者 10 万人を突破しておりまして、9 月 9 日に 10 万人目の方に市長にもご来館いただきまして、記念品贈呈のセレモニーを行いました。また、本年 4 月 22 日に 20 万人を突破したことを付け加えさせていただきます。

項番 26「としょかんきょうぎかいジュニア」ですが、この場のような大人の図書館協議会ではなく、お子さん達に図書館をさらに良くするための意見を聞く会を設けております。その中でいろいろ意見をいただき、これをもとに、休館日には返却ポストを図書館の前に設置であるとか、新年度からは図書館の貸出冊数の増を考えております。それからイベント情報の発信は、「図書館だより」などを各学校に届けており、要望があれば、全生徒分を印刷して届けさせていただきます。

それから、一番大きかったのは項番 42「開館 1 周年記念イベント」ですが、こちらはイオンモール富津と連携しまして、春休み期間に『開館 1 周年記念ウィーク』として、モール全体で記念イベントを盛り上げていただきました。主なものとしては、落語会や富津市観光大使のカジヒデキさんによるミニライブと 1 日図書館長です。また、この期間には多くの利用者の方に来ていただいております、正確な数字は差し控えさせていただきますが、4 月の開館当時の来館者数と同じくらいの来館がありました。イオンモールからは 1 周年で終わらずに、2 周年、3 周年、4 周年と、周年記念祭をとおっしゃっていただいて、金銭面の負担もいただけるようでした、皆さんに図書館を認知していただけるようなイベントを開催していきたいと考えております。

以上が事業の説明となります。

引き続きまして、昨年度の事業統計について説明させていただきます。

①概要ですが、まず図書館の所蔵冊数は当初 6 万冊強ございましたけれども、1 年で約 2 万冊増えまして 83,261 冊となっております。登録人数につきましては 6,380 人、貸出冊数は約 18 万冊、貸出人数は約 53,000 人と非常に多くの方に利用していただいていることがわかると思います。

②来館者数ですが、4 月は開館ということで 4 月 1 日は約 3,000 人の来館者がありました。今でも土、日は 600 人から 1,000 人が来館いただいています。平日はどうしても人が少なくなっております、4～500 人ですが、それでも多くの利用者に利用されている図書館となっております。

④貸出者数ですが、計 53,000 人、月平均 4,500 人に本を借りていって

いただいています。グラフを見ますと、だんだん右肩下がりになっている感がありますが、3月以降はまた数字が上がっているということもありますので、積極的に自主事業等のイベントをアピールしながら、来館者、貸出に繋げていきたいと考えております。

⑤資料区分別貸出冊数ですが、図書館にある本を大人向けの本、子ども向けの本、郷土資料、参考資料、視聴覚資料、雑誌と分けますと、ほとんどが一般書、児童書の貸出ですが、児童の貸出が多い図書館という特徴になると思います。

⑥分類別貸出冊数ですが、図書館は日本十進分類法に基づいて本を分類しており、9番「文学」の貸出が多いです。これは小説がここに分類されるためで当たり前なのですが、絵本の貸出が約39,000冊と非常に多いことがわかります。他には、紙芝居が全て新しいので、紙芝居を演じる近隣市の団体からも「新しいものを演じたい」と借りていかれるのが特徴的です。

⑦受入冊数ですが、これは、購入したもの、寄贈、その他の欄には区分を間違えて受け入れたものを移したものがあります。実際購入したのは1万6千冊、寄贈は161冊ありますが、この寄贈は所蔵登録をして書架に出した冊数ということで、寄贈を受けて所蔵登録していない本がまだまだあります。市民の方からの寄贈で、汚れていたりで書架に出せないものについては、利用者にもリサイクルで提供したり、高齢者施設などに、汚しても無くしてもいいので、という形の団体貸出などの運用を考えています。

⑧資料区分別除籍冊数ですが、まだ図書館が新しいので、本の除籍というのはございませんでした。

⑨リクエスト件数統計ですが、令和5年度は2,981件でした。リクエストについては、図書館で所蔵したい本は購入し、既に所蔵している場合はその場で対応しました。また富津市の図書館には所蔵が無いのですが、近隣の図書館で所蔵していて、そちらから取り寄せた方が買うよりも早く提供できる場合は相互貸借という形で提供をしています。

⑩資料区分別蔵書冊数ですが、一般書が一番多く、その次に児童書となっています。

⑪資料区分別分類別蔵書冊数ですが、資料を分類別に分けると、一般書については小説類が非常に多く、それから児童書については絵本が非常に多いのがこの図書館の特徴だと考えることができます。

私からの統計の説明は以上でございます。

事務局 (吉村係長)	続きまして、資料 1-2「令和 5 年度 富津市図書施設統計」について説明させていただきます。 こちらは図書館、移動図書館、公民館図書室などの施設毎の蔵書数や貸出冊数など、図書における主要な指標についてまとめたものになります。台風災害、コロナ禍前の平成 30 年度から記載しておりますが、平成 30 年度は現在の図書施設をネットワークに繋ぐ図書管理システムが導入されておりません。導入が令和 2 年度 2 月になりますので、台風、コロナの影響は受けておりませんが、図書サービス環境が今年度とは少し異なるといった状況になっております。このため、2 番の「図書貸出券登録数」ですが、平成 30 年度と令和元年度が一番右の累計は、システム導入前で、登録者を紙ベースで管理している状況でしたので、二重登録者など不要なアカウントの精査を行うことが難しい状況であり、そういった数もカウントされておまして、直近の数字と比較できるようなものにはなっておりません。 裏面の 2 ページをご覧ください。こちらは主要指標の実績を他の自治体と比較できるように人口 1 人当たりで表した資料です。参考として、千葉県図書館協会が発行している『千葉県の図書館 2023』に掲載しております県内公共図書館のサービス指標をお示ししています。こちらは令和 4 年度の実績ですので、参考として比較していただければと思います。令和 5 年度は図書館の開館に伴いまして各指標は県平均レベルまで上昇しております。引き続き図書環境の整備、企画やイベント等の実施による読書推進を図りまして、更なる向上に努めてまいりたいと思います。 議題 1 についての説明は以上になります。
議長 (川口会長)	ありがとうございました。 事務局からの説明が終わりました。委員の皆さん、ご質疑等ございますか。
米村委員	資料によりますと登録者数が 6,400 人とありますが、年代別の来館者という分析はしていないのですか。 登録しているからおおよその年齢はわかりますよね。
事務局 (須藤館長)	図書貸出券を作るときに生年月日を伺っておりますので、本を借りている人の年代はわかりますが、来館している全ての方が本を借りていくわけではないので、来館者の年齢・年代については調べることができないという状況ですが、午前中の時間帯は高齢者の方と、おはなし会など

	のイベントがあるときは、お子さん連れといった年齢層が増えます。夕方ぐらいになってくると学生が増えてきて、19 時以降は動きがほとんどないです。全般的に言うと高齢者の方が多いです。
米村委員	10 ページの、④貸出者数 53,000 人、月平均 4,500 人とのことです富津市立図書館の傾向を分析すると面白いデータが出てくるのではないのでしょうか。分析できるプログラムはありますか。
事務局 (須藤館長)	図書システムが施設毎にございまして、抽出できるデータも違うので、どのようにデータ分析をしていくかというのはこれから検討していきたいと思います。ただ、やはり 1 年だけですと傾向がつかめませんので、他施設の情報も参考にして、2 年、3 年後の動きから、最終的には 5 年統計のような分析をご提示できればと考えております。
米村委員	楽しみです。ありがとうございました。
議長 (川口会長)	他にご意見ございますか。 矢上委員、どうぞ。
矢上委員	事業内容の中の「おはなし会」ですが、私も 2 回ほど様子を見たことがあります。この人数は親子の人数ということですよね。小さいお子さんは、日中はいないなっていう感じがして。その時に紙芝居を見せていたのですが、その方は職員ですか。
事務局 (須藤館長)	紙芝居は木更津のボランティア団体に来ていただいて、月に 1 回、紙芝居の会を設けさせていただいております。
矢上委員	他のボランティアの方も、そこに入ってやることもありますか。
事務局 (須藤館長)	手を挙げていただいたボランティアについては、時間帯などを合わせてやって頂いています。公立保育所の「おひさま広場」の方々も、図書館の中で「おはなし会」を開催しています。 もし、ボランティア団体にお知り合いがいらっしゃるのであれば、図書館と協力できないかと言っていると、大変ありがたいです。
矢上委員	ボランティアのことで、1 周年記念事業がたくさん書いてありますが、

	富津市ってボランティア団体がたくさんあって、各学校だけではなく、それ以外にもあって、開館の時に「おはなし会」を2日かけてやっていて、富津市ってこんなに「おはなし会」のメンバーがいるんだと改めて知って、とても利点もあったと思うのですが、今回、1周年記念に当たって、「こどもと本を結ぶ会」も声をかけさせていただいたような気がするんですが、そういう方たちも加わってやれることがあったんじゃないかなと思ったんですが、そのへんはどうでしょうか。
事務局 (須藤館長)	そのところは前任の館長からうまく引き継ぎができておりませんで、各ボランティア団体に連絡を取れなかったというのが実態です。大変申し訳なかったと思っております。近々、連絡を取らせていただいて、夏休みの時期とか、学生さんの長期休み等に合わせてイベントを開かせていただければと思います。
矢上委員	ぜひお願いしたいと思います。 もう一点、学校見学の受入は、どのように見学して、どのように過ごしているのか教えてください。
事務局 (須藤館長)	だいたい1時間ぐらいの見学時間の中で、最初は図書館の使い方という紙芝居を見てもらって、図書館はどういうふうを使うのかというのをスタッフから説明させていただいています。何回も来ている学校については、1年生以外は説明は不要というところもありますが、紙芝居を約10分、その後、館内を約20分かけて見学をして、最後に、子ども達に自分の好きな本を探してもらって、それを持ってカウンターに並んでもらって、貸出し手続きを体験して大体1時間くらいです。 特徴的だったのは天羽小学校で、1年生と6年生がペアを組みまして、6年生が1年生に付いて、1年生の本を選んで、その場で読み聞かせをしていました。6年生が責任感を持って、1年生に図書館の案内をして、かつ自分で選んだ本を1年生に読み聞かせるといった形で、これも合わせて1時間でやっています。
三浦委員	関連になりますが、小中学校の見学を快く受けてくださり大変感謝しております。 私も昨年は教育センターにおりまして、学校の方に活用を進めていたので、昨年度は多数の学校が見学させていただいて、図書館の使い方、本の紹介して頂きました。

	昨年度に多くの学校が行ったので、今年はどうしようかということで、各学校の先生方から私の方に質問がありました。図書館利用については昨年度教えていただいたので、希望できるならば、今、天羽小の1年生と6年生の実践のお話がありましたけれども、例えば、本校（吉野小学校）で出ている話は、今は国語の授業でこの作家について勉強しているので、その作家の本を紹介していただいて、読み聞かせをしてもらうといったようなことは、お願いをしたらやっていただけますか。 昨年度、教育センターに在籍していたときに、図書館の方から国語の教科書を貸してくださいと言っていたので、全学年の国語の教科書をお渡ししましたら、そこに載っている作家の本を全て揃えていただきました。私が学級担任をしていたときは自分で購入するか、放課後になってから他市の図書館に行って借りるしかなかったのですが、今は富津市に全てが揃っているという、本当にありがたいことです。 ですので、こんな活用しながら、図書館で本にたっぷり触れるというような企画をしたときに受け入れは可能ですか。
事務局 （須藤館長）	図書館に来て頂くというのがありますが、逆に学校に出向いて、読み聞かせとか本の紹介も含めて出来たらいいなというふうには考えています。また、昨年から課題になっております「ブックトーク」とかを学校の中でやらせて頂ければと考えております。今年はそれを図書館の課題として挙げていますので、学校と連携を取らせていただいて、是非やらせていただければと思います。
三浦委員	学校においては、富津市は地域の方たちのボランティアが充実しています。本校（吉野小学校）もそうですし、隣にいる杉田委員もそうですけれども、毎月、毎週、読み聞かせをしていただいたり、図書館から借りた本を持ってきて紹介してくれたり、先生方が授業でこういうことをやりたいと言えば、すぐに本を集めてくださったりするようなボランティアの皆さんがいて、学校での読み聞かせは大変充実していると思っています。学校によって差はありますが、図書館に行った時だからこそできるような体験ができるといいなということが、現場から声が出ていますので、また相談させていただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。
議長 （川口会長）	図書館見学の受入については、委員の皆さん非常に興味を持っていて、前回聞いたときに、受入については事前に打ち合わせを行って、どのよ

	うに見学させるのかというのを決めるということでしたね。
事務局 (須藤館長)	やはり事前に希望を聞かないと、以前に図書館の利用方法等の説明は受けているから、自由に見学させてほしいといった希望もありますし。お子さん達が騒いでしまうときは、最終月曜日の図書館休館日に来ていただけたら、図書館スタッフは図書整理で出勤しておりますので、逆に自由に騒いでも大丈夫だということにもなりますので、そういった見学も検討できるのではないかなと考えます。
議長 (川口会長)	この見学会というのは、1回見て、こういうもので終わりではなく、やはりリピートできるような形で、随時相談しながら検討して進めていくという、そういうやり方をしてもよろしいのではないかということですね。 他に何かございますか。
杉田委員	富津市では5のつく日が読書の日ということを耳にしましたが、これはどなたにお聞きしたらいいのでしょうか。 この間、吉野小学校にお邪魔したときに掲示物があって「5のつく日は読書の日です」と書かれていて、それを見たんですが、あれは学校の中だけのものですか。
三浦委員	昨年度まで教育センターにありましたので、私からお答えします。 3年ほど前から、学校では5のつく日を読書の日ということで、その日は本にたくさん触れ合う、普段も触れ合っていますけれども、5のつく日は特に本に触れ合わせましょう、たくさん読みましょう、また、子ども達だけではなく、ご家庭にも本を読む時間を作ってくださいとお願いしました。学校の子供達に「本は好きですか、どれぐらい読んでいますか」とアンケートをとりまして、5のつく日の効果が、どれだけ本を好きになる子が増えたか、どれだけ読書時間を増やしているのかということを、今、分析しているところです。 ですから、市民全体よりは学校にまず推進をしているところであります。学校によってはその日の宿題は読書にしたり、普段はプリントとか問題をやるという宿題を出している学校は、5のつく日はとにかく親子で本を読みましょうとか、兄弟で本を読みましょう、1人で自分の好きなジャンルの本を読みましょうとか、学校によって様々です。5のつく日に、親子で決めて図書館に行っているお子さんもいます。少しずつ読書の日が浸透してきています。

杉田委員	ありがとうございます。 それを伺った上で、では、図書館にとっていう話しですけれども、5のつく日は読書の日学校のみでのことなのかなと思いつつも、これがオール富津で、富津市内で、図書館もそうですし、子どもと本を繋いでくれる現場で、合言葉のように今日は5のつく日だったねと、先ほど三浦委員からお話ありましたけど、小学生を持つご家庭だったら尚更、家族でもとならないものかなと思っていました。前に意見を述べさせていただいたときも、お互いに読んだ本を話題にするだけでもいいと思いますし、せっかく5のつく日を読書の日というのを作ったのであれば、どういうふうに浸透、広めていったらいいか、まさしく図書館が一緒になってくれたらと私は個人的に思ったので、質問させていただいたわけです。
事務局 (須藤館長)	私が「5のつく日は読書の日」というのを初めて聞きまして、不勉強で大変申し訳ありませんが、こういった機会は大切ですので、図書館としてもそれに合わせてイベントをやるとか、それから本を借りてくれた子には、何かちょっとしたプレゼントを渡すとかっていうことができるかと思しますので、モノで釣るとかではないですが、やはり図書館に来てもらうということが大切ですので、5のつく日は図書館に行こうという形のキャンペーンとかいろいろ考えていきたいと思っておりますので、皆さま方にはご協力をお願いするかもしれませんがよろしくお願いいたします。
杉田委員	学校と図書館を結びつけるということが、図書館協議会の中ではありますが、図書館のことだけを語り合っていたのではというふうに私は常々思っていました。それぞれの委員もどれだけ話を広げたらいいのかという不安があったかと思えます。今日は学校現場の話を図書館に提案していいものかどうかと迷っていました。ですが、学校図書室、図書館の仕事をしてくださっている方も委員にいますので、点と点を線で結んで、それがオール富津になったらいいなというふうに思います。あえてまた申し上げたのは、これからも図書館という枠に限らず、意見を言わせていただきたいと思います。よろしくお願いします。
議長 (川口会長)	確かに当初、図書館協議会の中でどこまで議論したらいいのか、あまり広げすぎると焦点が定まらなくなってしまうのではないかなという意見もありましたが、点と点を結ぶという、あくまでも委員の中だけでということではなくて、波及効果があることはどんどんと話し

	合って進めていければいいかなと思います。 ちょっと再確認ですが、私も初めて5のつく日は読書の日ということを知りまして、これは学校だけで実施しているのですか。
三浦委員	学校から広めていこうということですね。
議長 (川口会長)	特に富津市全体ではそういう取組をしているわけじゃないんですか。
事務局 (中山部長)	各学校それぞれの取組で、お子さん、また家庭での本との触れ合いを増やして、だんだん力をつけていただこうという運動を行ってくださっていますので、杉田委員がおっしゃったように、それを家庭の方からもサポートするという意味で、図書館とのリンクというのはとても有効なお話だなというふうに聞かせていただきました。ありがとうございます。
事務局 (大河原)	現在、図書館でスタンプラリーというものを行なっています。通常だと来館されたらスタンプを1個押すのですが、5の倍数の日だけ3個押しています。というのも、5のつく日は読書の日ということを知っていましたので、それに関連付けてこのようにしております。情報発信の場というほどではないのですが、今後も点と点が太い線で繋がるような取組を推進していければと思います。
議長 (川口会長)	図書館には是非検討していただいて、学校から始まったこの取組が、どんどん広がっていけばいいかなと思います。よろしくお願いします。 他に何かございますか。 ご質問がないようですので次の議題に移ります。 (2) 令和6年度事業の進捗について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局 (須藤館長)	それでは、資料2をご覧ください。 1ページ、通年事業ですが、前回の第4回図書館協議会でお示しした自主事業につきまして、21項目を実施させていただいています。特徴的な事業のみ説明させていただきます。 1番の「おはなし会」ですが、こちらは小さいお子さん向けの「おはなし会」で、毎月1回程度、木更津の紙芝居ボランティア団体の「ありの実」さんに協力をいただきまして紙芝居を開催させていただいています。 5番の「図書館見学の受け入れ」、については、先ほどもご説明させて

いただきましたが、天羽小学校については、1年生と6年生という形で、6年生が1年生の本を選んでという形で実施しています。また、保育所も含めて多くのお子さんたちに来館いただいております。

8番の「図書館だよりの発行」については、一般向けの「図書館だよりの発行」だけでなく、0歳から2歳、3歳から5歳、低学年、中学年、高学年、ティーンズ向けをそれぞれ、4月、5月に発行しました。小学生向けにつきましては、次の号を7月1日発行で準備をさせていただきます。

2ページをご覧いただきまして、18番の「団体貸出（学級文庫）」については、各学校の顔ぶれは変わっておりませんが、冊数の方が前年度から若干各学校で変わっております。

19番の「団体貸出」については、既に13団体365冊の本の提供をさせていただきます。こちらは昨年1年間で、1,000冊強でしたが、現在の利用状況でいきますと、1,200冊から1,500冊という想定をしています。

3ページに移りまして、21番の「読書活動の推進」では、4月及び5月に行った特別展示を全てここに記載させていただきます。4月が23ぐらいで、5月が25とかなり多くの特別展示をさせていただきますので、こういった中で、気になった本をすぐ手に取れる、全然知らない本だけど興味を持っていただき手に取っていただくということを主眼に読書活動の推進をさせていただきます。

次に期間事業、1周年記念イベントにつきましては、先ほどの報告のとおりです。期間中の来館者数は1万人弱で、これは2週間での来館者数になりますので、かなり多くの方々にご来館いただいております。

4ページに移りまして、こちらに記載の事業は、今後実施予定のものもありまして、その中で実施した事業が7番の「つくろ。まなぼ。あそぼ」で、富津図書館寄席というイベントを、6月から毎月、日本の伝統文化、芸能の発信拠点として図書館を使っていこうということを目的として開催させていただきます。第1回は55名の参加で、落語家さんに来ていただきまして落語会を開催しました。次回、第2回は7月13日になりまして、音楽パフォーマーの方を予定しています。音大を首席で卒業された方が落語協会に登録をしております、音楽をみんなで楽しんでもらうための算段でパフォーマンスを繰り広げますので、委員の皆様方におかれましては、お時間あれば是非来ていただけたらと思います。

少し戻りますが、4番の「七夕星空映画会」ですが、こちらは7月7日の七夕に合わせて、富津イオンのコミュニケーションホールで行

	います。宇宙に関する 20 分ぐらいの短いアニメーション映画を上映し、併せて、100 万個の星を映せるプラネタリウム機材をイオンさんに借りていただきましたので、当日、七夕のその時間の空を投影し、天の川を見ながら映画会をやるといったイベントを企画しております。好評であれば、図書館の学校受入事業でも、プラネタリウムの下でお話をさせていただいてとか、図書館に興味を持ってもらえるようなイベントにも繋げていければいいかなと考えています。他の図書館ではなかなか実例のない催し物で、イオンさんにも大変ご協力いただいておりますので、是非成功させて定着していけたらと考えております。 簡単ではございますけれども事業計画については以上でございます。
議長 (川口会長)	事務局からの説明が終わりました。 委員の皆さんからご質疑等ございますか。
矢上委員	こどもと本を結ぶ会では、先生とか学校関係の「おはなし会」をしている方が多いので、どうしても学校の話になってしまうんですが、移動図書館が全部の小学校を巡回していますが、幼稚園・保育園にも巡回して欲しいなと思います。こちらから手を挙げるのはなかなか難しいので、呼びかける必要があるかなと思っておりますが、移動図書館はなかなか回れないという話も聞くので、Liboon（リブーン）との関係で、いろんな保育所とか幼稚園を回ってもらえたら嬉しいなと思っています。 それと事業がとても多くて、私なんかはちょっと見ただけでも目が回ってきたんですけども、行事によっては図書館にじゃなくて、イオンに来てという感じがしてしまうところがあって、やはり読書に繋がるということが大事なので、イベントに寄ってはどうかかなという内容のものもある気がしています。 こどもと本を結ぶ会では、子ども達に好きな本の絵を描いてもらって、市役所で 1 週間、展示会をさせていただいたんですが、去年は 100 作品ぐらいで、今回は 228 作品となっていて、併せて 200 冊の絵本のお譲り会をしたんですけど、残ったのが 20 か 30 冊。古いけどいい本があって、好んで持って行っていただきました。 そんな風にやらせていただいている中で、図書館の事業は、私は何か賑やかすぎるなっていう感じがしました。 それと「広報ふつつ」に富津市立図書館のコーナーがあって、それが、同じ紙面のカナリエのカレンダーに何となく雰囲気似ていて、一般的に分かるのかなみたいな印象がしました。今年から始めたことだと思う

	ので印象的なのがいいなと思いました。 あとは具体的なお願いをまた後で。
議長 (川口会長)	それでは、事務局は今の質問についてお願いします。
事務局 (須藤館長)	昨年の絵画の展示会については、図書館も協力をさせていただいて Liboon（リブーン）も展示させていただきました。 イオンに誘客するためのイベントになってしまっていないかということですが、やはりイオンに来ていただかないと図書館にも足を踏み入れていただけないということもありますし、また、図書館に限定したイベントの中でも、景品やノベルティをイオンさんや各店舗さんから提供いただいたりですとか、色々のご協力いただいている部分もありますので、ただ、今後はそういったものにも左右されない良いものを図書館として提供していければと思います。やはり図書館に初めてくる方はまだ多くいらっしゃいますので、そういった初めての方々をどうやって増やしていくか、リピーターを増やしていくか、この二つを目標に図書館の運営をしていきたいと考えています。 次に「広報ふつつ」ですが、文字の大きさや字数も決まっております、それでちょっとカナリエさんを模範にさせていただいて、こちらの方が見やすいのかなと思って作成したのですが、委員おっしゃるとおり、見る方に分かりやすいように工夫させていただきたいと思います。
議長 (川口会長)	よろしいですか。他に何かございますか。 他にご質問がないようでございますので、本日の議題についてはこれで終了したいと思います。 (次第5 その他) 次に、次第5 その他でございますけれども、委員の皆様から何かございますでしょうか。
伊藤委員	議長と事務局にお伺いしたいのですが、まずは、この協議会の仕組みですけれども、昨年度は4回ほど開催されて、今年度は、メールで事務局にお尋ねしたところ、2回を予定していますという回答だったんですが、仕組みがよくわかりません。 それと、もう一つは、今日着席して初めて分かったんですけれども、委員の方が新しい方と、お辞めになられた方、色々いらっしゃると思う

	んですけど、今日配布されている資料は、次第は事前に届いていましたけど説明というのは聞いていないので、簡単にご説明いただきたいんです。私ともう1名の公募市民は2年間の任期となっておりますが、その他の委員の方はどのような仕組みで参加されているのでしょうか。
議長 (川口会長)	教育委員会から新しい方を2人委嘱されましたよね。 経緯を全体的なことも含めて説明をお願いします。
事務局 (篠田課長)	図書館協議会の委員については、条例に規定されている各区分によって委嘱させていただいています。三浦委員は学校教育の関係者ということで、校長会から推薦いただき委嘱させていただいております。学校の人事異動の関係で今回変更されています。矢上委員については、市内図書ボランティア団体という区分で、こどもと本を結ぶ会という団体から推薦いただき委嘱させていただいているのですが、前任の方が市議になられて、本協議会が市の附属機関であるということを踏まえ、会の中から他の代表者を選出いただいて交代されました。委員の変更があった場合は、前任の委員の残任期間となりますので、2年間ではなく、後任の委員の方も他の委員の皆さんと同じ令和7年3月31日までお願いすることになります。 それぞれの委員の皆さまがどういう区分で委員になるかという、学校教育の区分から2人、社会教育2人、家庭教育1人、学識経験者2人、公募市民2人、図書ボランティア1人と10人を選出させていただいています。任期は2年間で令和7年3月31日までですが、2年で終わりということではなく、同じ方が続けていただくことも可能ですが、今回の任期は令和7年3月31日までとなります。
議長 (川口会長)	伊藤委員よろしいですか
伊藤委員	そういう事情があるのでしたら事前にご説明いただきたかったと思います。 それと、会議の回数も、年度毎に変わるのですか。
事務局 (篠田課長)	会議の回数は特に規定されておりません。昨年度は図書館が開館した初年度ということもあり、図書館の進捗報告や、それについて委員の皆様からご意見を頂戴する機会をとということで、4回開催させていただきました。今年度は何回開催するのかは、現時点で決まっておりますが、

	図書館も2年目となり、運営や事業等も落ち着いてきましたので、今年度は予定としては3回で、何か委員の皆様にご意見を伺いたいような案件が出れば、都度、開催させていただければということ、報告させていただく予定でした。
議長 (川口会長)	今年度の会議の予定としては3回ということで、それで課長が言われたように、内容によっては、もしかすると3回から前後するかもということですが如何でしょうか。
伊藤委員	私は、メンバーとか回数について、特に意見はないですけれども、以前にもお尋ねしていますが、やはりスケジュール、今日も欠席されている委員がいらっしゃいますけれども、なるべく早く会議スケジュールを連絡いただいた方が、こちらも合わせやすいかなと。開催の1週間前とかに連絡が来たときもありました。とにかく、丁寧な事前連絡ですね、委員の方が今度はこうなりますとか、回数がこうなりますとか、その辺を簡単にでも事前に説明いただけると大変助かります。 以上です。
議長 (川口会長)	事務局は何か変更とかあったり、日程ですとか、そういったものが決まりましたら、早めに委員の方に連絡いただければと思います。 他にございますか。
矢上委員	具体的な話なのですが、児童の図書に関して専門の司書さんを配置して欲しいと、そんな意見を聞いているんですが、今年、15年ぐらいキャリアのある方が来てくださったということで、それは聞かれた方にお返事をしようかなと思います。 それから返却ポストを市民会館とか中央公民館にも置いて欲しいとお願いしているのですが、借りる時は勢いがあるから借りられるんですが、返す時は頑張らないと返せないところが実はあって、借りちゃったけど、やっぱりちょっと天羽の方から返すには結構大変なことなので置いてあればいいなと思います。それと富津公民館のポストってなんかちょっと冷たい感じで、もうちょっと宣伝も兼ねて、かわいらしいデザインにしたらいんじゃないですかね。是非検討していただきたいなと思っています。 それと、図書館に検索機が3台くらいあると思うんですけど、どちらも椅子が置いてなくて、私、ちょっと腰が悪かったりすると中腰の状態

	で操作しなきゃいけない。先日、背の大きな人が腰を曲げて操作しているのも目にしましたので、座って使用できたらいいなと思いました。他市では座って利用できるところもあるし、市民会館も富津公民館も椅子をおいてあるので、その方が私はいいかなと思います。杖置きとかそういうものも、もちろんあったらいいと思います。君津図書館は立ったまま使用できるので腰が悪い人もＯＫなんです。もったいないなと思って是非検討していただけたらなと思います。
議長 (川口会長)	事務局どうですか。
事務局 (吉村係長)	返却ポストについては、昨年度からご意見・ご要望等いただいております。昨年度、図書館が開館して、貸出冊数や貸出場所の実績を見ると、施設によってかなり変化がございますので、今後、利用状況を勘案しながら、返却ポストの設置ですとか、又は返却場所の拡充などを検討してまいりたいと思います。
事務局 (須藤館長)	図書館の検索機の高さについては、ご意見を参考にさせていただいて、改善させていただきます。
矢上委員	場所によってと、富津公民館がだんだん借りられなくなるって言い方をされているんですけど、図書室のボランティアを募集して、何人も登録があって、そうした方々によって富津公民館は毎週綺麗にされています。それから図書館で何冊か借りるんだけど、必ず富津公民館によってハードカバーを借りています。利用人数が少なくても大事にしてほしいと思います。
議長 (川口会長)	色々と要望が出ていますけど、事務局は検討をお願いしたいと思います。 他に何かございますか。 なければその他ですけど、事務局からございますか。
事務局 (吉村係長)	生涯学習課から下記３点を報告 ①第２次富津市子ども読書活動推進計画の策定について報告 (別添資料参照) ②図書の個人貸出冊数上限（６冊以内）の拡充について ③次回会議について１０月開催を予定

議長 (川口会長)	ただいま事務局から３点報告がありましたが、これについて皆様からのご質問等ございますでしょうか。
伊藤委員	図書館の蔵書のオンライン検索に関連して三浦委員にお伺いしたいのですが、学校で使用しているタブレットは、学校でも家庭でもオンラインで繋げてはいけないでしょうか。
三浦委員	図書館の蔵書管理システムに限ってということよろしいですか。
伊藤委員	タブレットそのものです。
三浦委員	ご家庭では、宿題とか勉強するために使っていいことになっています。ただ、YouTubeとかそういうものは見れないようにセキュリティがかかっております。
伊藤委員	市立図書館の検索のページは利用できるのですか。
三浦委員	電子図書を見ることはできるようになっておりまして、活用しております。
伊藤委員	事務局にお尋ねしたいんですけど、電子書籍ってのは現在何冊ぐらいあるんでしょうか？ これ資料によると、昨年度１年間で、1,000人しか利用していないようなんですが。
事務局 (吉村係長)	現時点で 12,588 点が閲覧できるようになっています。
米村委員	電子図書について、第３回会議で質問したと思うんですけど、君津も木更津の図書館もオーバーに言うとは全力を挙げているんですね。 要するに、今、蔵書されているものは全て電子図書で見られるように、その点で言うと、図書館の蔵書数は現在 80,000 冊で、電子書籍は 12,000 冊と言われました。ちょっと遅いペースですね。 それに力を入れようとしているのかしていないのか、その辺はどうなんですか。予算の都合もあるでしょうから、今年はどういう計画ですか。

事務局 (吉村係長)	電子書籍については、毎年度、拡充していければと考えています。今年度も増刷のための予算措置はしておりまして、概ね200冊程度ではありますが増刷する予定です。
米村委員	会議冒頭に年齢別の利用者について須藤館長にお聞きしたんですけど、私は自分の年齢が後期高齢者だから言うわけじゃないんですけど、富津市に初めて図書館ができて、私は他県から来ているものですから、図書館のない市で育って50歳を過ぎた人達は、極端に言うと本の魅力も知らないままさよならするわけです。 先ほど質問したのは、熟年者というか、50歳代以上の全く図書館に行ったことのない人に、館長も言うておられましたけど、新しい魅力というか、本の魅力というか、今は世間は電子図書じゃないけど、どんどん図書館に行くことをやめる傾向にあって、本屋さんも減っている中にあるけれども、この外の風景を見てください。ここから見ると緑一色です。これだけ良い環境に住んでいて、本の魅力も知らなかった人に是非知ってほしい。そういうチャンスの場を与えるようにするために、年代別といったのは、その中に色々と問題が隠されているはずなんですよ。だから、それを早く知りたいと思ったんですけど、残念ながら今日はデータがなくて分からないということで、次の図書館長の報告を楽しみにさせていただきますけど、それと関わるんですよ。この図書館は、3年後、5年後、どういう青写真を描いているかにかかると。その辺が、残念ながらこの会議に来ても見えない。先ほど伊藤委員が質問したことと重なるところがあるんですけど、一体、この委員の役割は何か、その基本に立ち返ってみると、最初に記載したことと実際と、富津市が、言葉は悪いけど、丸投げして運営して、その中でこの委員の役割は果たしてどの程度、何を期待されて、1年間の結果としてどうだったのか。その辺が、残念ながら来年の計画が出てきましたけど、肝心なところには触れていない。だからその辺の疑問というか、本当に必要なのかどうかも、やはり本当は突き詰めるというか検討すべき。まだ2年目だと言われればそれまでですけど、やはり青写真をある程度、共に考えていく、あるいは広がり、深さ、その辺ももう少し我々が困るような、何も投げかけてこないじゃないですか。その辺が、私は伊藤委員の味方をするわけじゃないけど、言葉を返すとそういうことに繋がるんですよ。 だから電子図書への姿勢もいい例です。200冊。だから本を見る魅力。もちろん電子図書で見られるというのは、東京に行く時とか若者がニコニコしながら見ているのを見ると、富津図書館、限られたスペースであ

	りますけど、少しずつ良くなっているというか、充実していけばいいなとは思います。ちょっと長くなりましたけど、やはり 200 冊はちょっと寂しいですね。ご検討ください。 生涯学習課もおそらく頑張ろうとはしているんだろうけど、理解者が上にいない可能性もあるんだけど、やはりそういう意見が出てきたということも利用してください。うるさいのが 1 人いたと。 演説を終わります。
議長 (川口会長)	よろしいですか。 それでは、またその辺を含めて検討をお願いいたします 他に何かございますか。 ないようでしたら、以上をもちまして全ての議事を終了といたします。 円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。 進行を事務局にお返ししたいと思います。
事務局 (篠田課長)	川口会長ありがとうございました。 本日は長時間にわたりありがとうございました。 以上を持ちまして、令和 6 年度第 1 回図書館協議会を閉会といたします。